

# 難消化性糖類を用いて下痢の改善がみられた二症例

特定医療法人 社団 松愛会 松田病院

○ 中村友光子 松本有美 徳田好子 青野多恵子  
三枝直人 川上和彦 松田保秀

## 【はじめに】

当院では、肛門疾患、排便障害、便通異常などにより便秘、下痢の患者が多く受診している。また、炎症性腸疾患、大腸術後により下痢～軟便で便回数の多い患者を対象に軟消化性糖類の特定保健用食品\*「ゼリージュースイサゴール」を使用している。今回、「ゼリージュースイサゴール」の使用によって便性・便回数の改善が顕著にみられた二症例を報告する。

## 【方法】

対象患者にそれぞれの症状に合わせてゼリージュースイサゴールを使用してもらい、食事・排便記録表をつけてもらう。(期間と使用量は患者により異なる)

【症例1】 T.H. 男性 31歳 現病歴：クローン病。

手術歴：回腸終末部に狭窄を伴う縦走潰瘍、一部瘻孔あったため、回腸・盲腸切除術

退院後経過：在宅経腸栄養療法から食事経口摂取(2食/日)になった1週間後に、下痢症状出現

主訴：下痢、便回数の増加

Dr 処方：ゼリージュースイサゴール 1本/日

結果：ゼリージュースイサゴールを使用したことで、便性の改善が見られた。

【症例2】 S.K. 男性 41歳 病歴：直腸腫瘍

入院目的：大腸手術(低位前方切除術)

主訴：便回数の増加

術後経過：術後9日目に大腸術後流動食開始。

全粥に上がってから便回数が極端に増加(便回数18~24回/日)

Dr 処方：ゼリージュースイサゴール 1本/日

結果：ゼリージュースイサゴールを使用したことで便回数の改善が見られた。

## 【考察】

1 症例目はゼリージュースイサゴールを使用したことにより、便性状、便回数が改善され、クローン病のED療法と食事併用が可能となったことで、QOLが上がった。

2 症例目はゼリージュースイサゴールを使用し、大腸術後の便回数が減少し、仕事にも支障なく、日常生活を送ることが可能になった。

今回の症例で、下痢や便回数が減った事は、イサゴールの水分調整作用や胆汁酸の結合・排泄作用によるものと考えられる。しかし、食物繊維の摂取について確定されているものはなく、他の症例については必ずしも効果があると言えない患者も見られた。この事は、食物繊維の生理作用が解明されていない部分も多いこと、また、それぞれの生活背景(食事・運動・水分量など)が占める部分が大きいことから言える。今後症例を重ねながら検討していきたい。

ゼリージュースイサゴールの効用については、便性・便回数の改善以外にもコレステロール低下作用などの効用も言われているが、個々の症状に合わせ、医師や栄養士が症状を観察しながら適切な指導のもとに使用していくのが大切だと思われる。

\*「ゼリージュースイサゴール」…サイリウムハスク(水溶性と不溶性の食物繊維をバランスよく含む種子)を含んだ製品。(フィプロ製薬株式会社)

### 【症例 1】

T.H. 男性 31歳 身長 171cm、体重 57.4kg

現病歴：クローン病 主訴：下痢

#### 経過

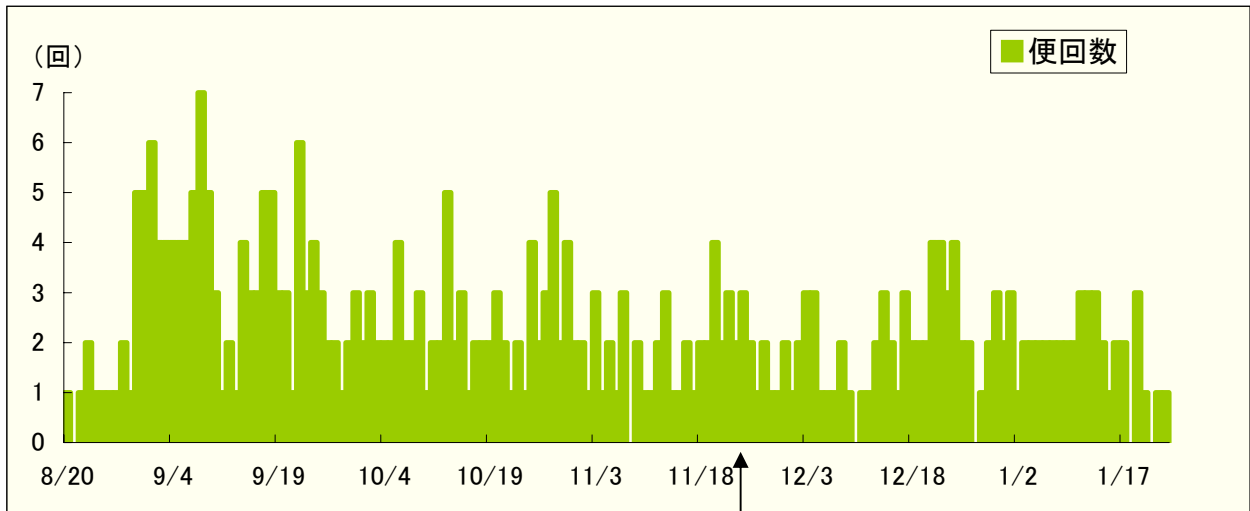
H13年5月9日に当院入院、クローン病と診断される。同年7月2日に回腸・盲腸切除術を施行し、7月21日に在宅経腸栄養療法のみ（ED7P、2100Kcal）で退院となる。

8月23日に、退院後1回目のIBD外来受診、栄養相談を受け、経口摂取開始となる。1日1回食で1週間順調であったが、1週間後の8月30日に1日2回食としたところ、下痢傾向となり、便回数も4～6回/日となる。

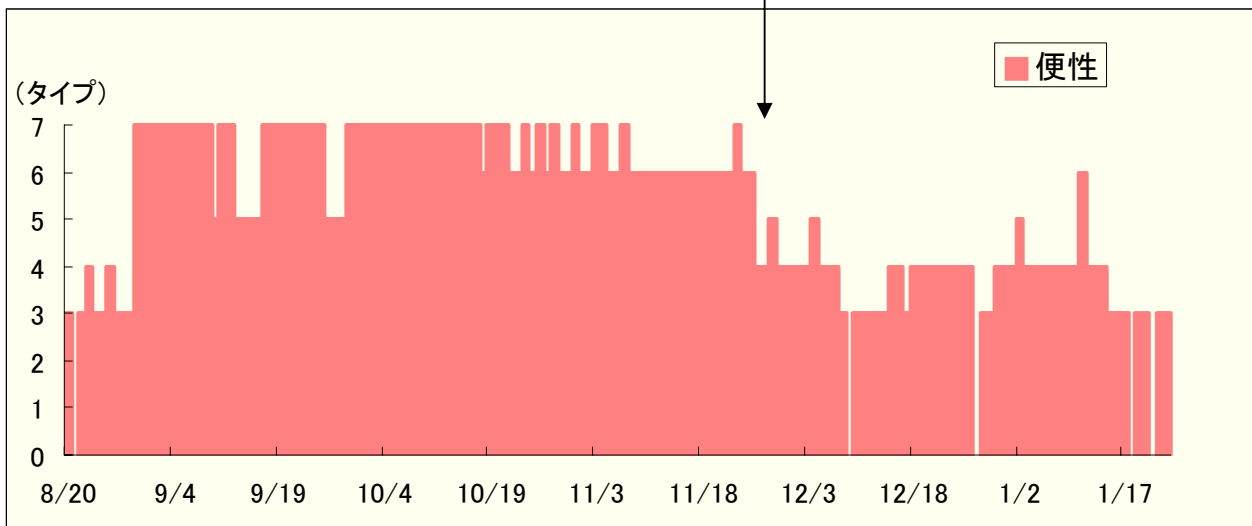
9月6日に2回目栄養相談を受け、1日2回食→1回食（夕のみ食事、朝・昼はEDゼリー）とする。（便回数は減ってきているもの、軟便～下痢が続く。

11月3日の3回目栄養相談時、ゼリージュースイサゴールのサンプルを渡す。食事は1回食を継続。

11月25日～27日にイサゴールを試飲したところ、便回数1～2回、便性も普通便で落ち着いてきたので11月29日の4回目栄養相談にて、イサゴールを1本/日使用していく事になる。現在、症状、体調共に落ち着いている様子。イサゴール継続中。



イサゴール開始 (11/25)



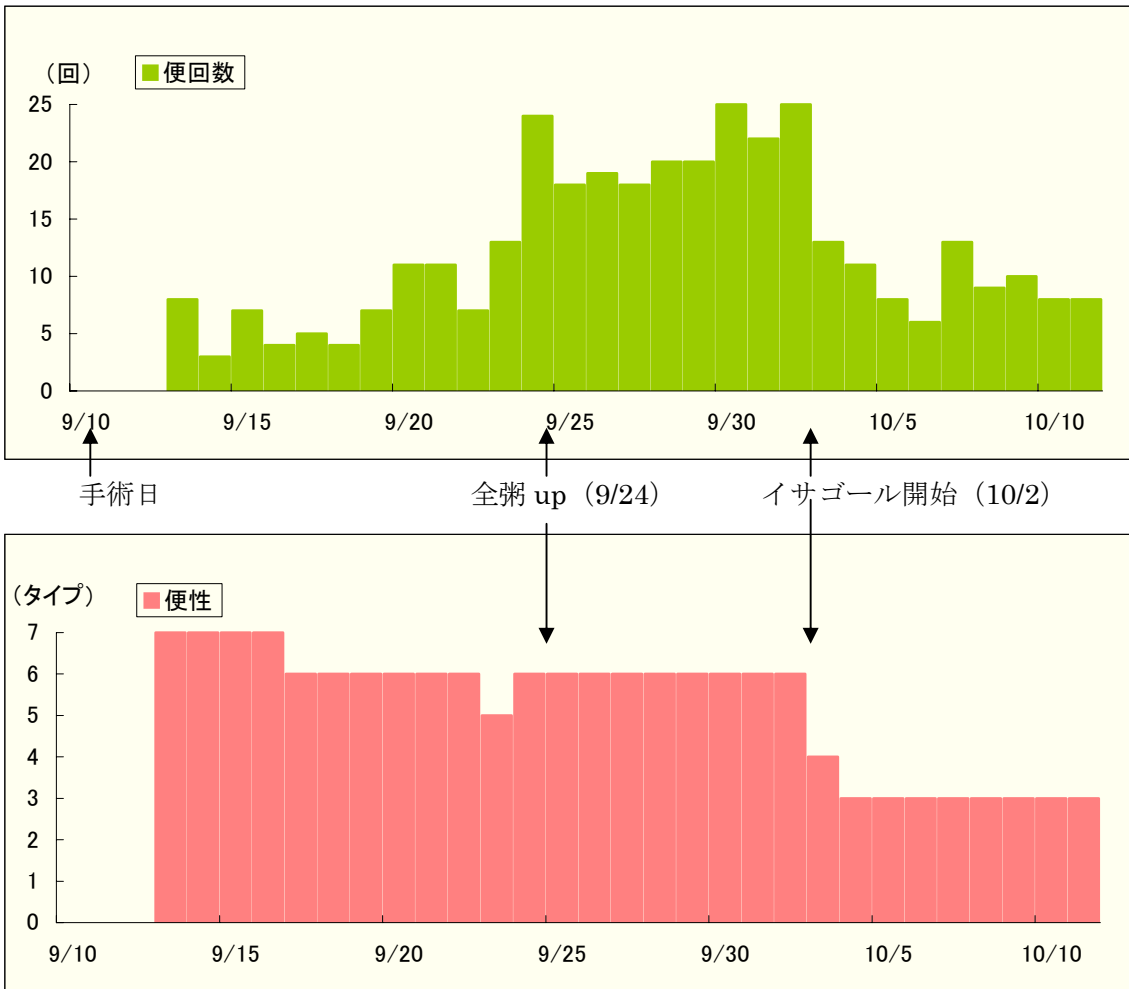
【症例 2】

S.K. 男性 41歳 身長 164cm、体重 69.0kg

病歴：直腸腫瘍 主訴：便回数の増加 手術歴：大腸手術（低位前方切除）

経過

平成 13 年 9 月 5 日、大腸手術目的で入院し、9 月 10 日に低位前方切除術、施行。術後 9 日目の 9 月 18 日より大腸術後流動食開始。2 日上がりの全粥にあがってから、便性は細くなり、便回数が極端に増加する。（便回数は 18~24 回/日）。その為、不眠となり、長くても 1.5 時間しか眠れない状態が続く。10 月 2 日にゼリージュースイサゴールが開始となる。（1 本/日）その後、便回数が 6~8 回/日と減ってきたため、10 月 12 日退院となった。



ブリストル便性状スケール

- タイプ 1・・・コロコロ便
- 2・・・硬便便
- 3・・・普通
- 4・・・有形軟便

- タイプ 5・・・無形軟々便
- 6・・・泥状便
- 7・・・水様便